

令和7年度 卒業論文

SNS における談話表現
——「トイウカ」の使用実態と機能再考——

広島大学文学部人文学科
日本・中国文学語学コース
日本文学語学専攻
B226829 坂本琴美

目次

1	はじめに	1
2	先行研究	2
3	調査方法	7
4	調査結果	8
4.1	用法分類	8
4.2	各形式の語彙的意味の有無	18
5	考察	20
5.1	語彙的意味の有無との関連	20
5.1.1	形式による語彙的意味の有無との関連	20
5.1.2	表記による語彙的意味の有無との関連	21
5.2	「トイウカ」のもつ機能	22
6	おわりに	28
7	参考文献・参考サイト	29

1 はじめに

私たちが使用している言葉は、さまざまな言語活動のもと変化してきた。若者言葉は、そういった言語活動による変化の一例である。

一般的に、若者言葉は長らく日本語の乱れとして扱われてきた。しかし、日本語学の分野においては、言語変化により発生したものとして研究されている。堀尾(2022)は、若者言葉の「乱れ」から、若者言葉は不条理に生み出されたものではなく、一定のルールのもと起きた言語変化の結果であることを主張し、若者言葉における言語変化を以下のように定義した。

言語変化とは

誤用から生まれたもの、従来の語彙の活用・形態・意味に変化があるもの、特に、本研究では若者言葉を分析対象としており、従来のいわゆる文法に合致しないものや「非文」となっていたはずのものの変化も「言語変化」の一つとする。言語接触による新造語なども含め、同一言語の中で時間をかけて変化していくもの、または同時代に見られる変化、全てをまとめたものをいう。

(堀尾佳以『若者言葉の研究——SNS時代の言語文化——』、p. 21)

今回扱う「トイウカ」に関しても、若者言葉の一つとして、言語変化が起きたことと新しい機能が生じたことが密接にかかわっている語であると言える。

このように、現実の言語活動によって私たちの言葉は変化を遂げてきたが、昨今の端末機器やインターネットの発達に伴い、新たな場へと移行しようとしている。SNSの普及により、私たちのコミュニケーションの場は現実に限ったものではなく、インターネット上へと拡大しているのである。

元々、若者言葉は若年層のコミュニティ内で、仲間との間のみで使われていた。会話をスムーズに展開させる機能や、仲間内で使用されるという性質から、使用者同士の連帯を強める機能等が確認されている。一方で、多く発信に用いられる Facebook や Twitter (現：X)、Instagram といった SNS は、ユーザー同士の交流も図ることも可能だが、基本的な発話是对話の相手を特定しない独話で行われる。

本論文では、「トイウカ」を対象として、現実の言語活動で言語変化が起きた表現が、SNS という場に移行した時に、どのような変化が見られるのかについて調査し、その変化の理由を明らかにすることを目的として研究を行いたいと考えている。

2 先行研究

ここで若者言葉の用法の「トイウカ」について、本来の意味と、若者言葉の用法での意味が一般にどのように捉えられているか提示する。「トイウカ」を1つの語として扱い、解説している唯一の辞典であることから『明鏡国語辞典』を採用した。また、若者言葉での意味に関しては、「トイウカ」を明確に若者言葉というカテゴリに分類している資料として『現代用語の基礎知識 2025』を採用している。

と-いう-か【(と)言うか】一イ一

〔連語〕

《文頭に使って》前の言葉を修正するのに用いる。

「天気が悪かった。一土砂降りの雨だった」

▶ 「っていうか」「ちゅうか」「てか」「つか」はくだけた言い方。

(1) 最近の若者ことばでは相手の言うことを受けて話題をずらすのに用いられることがある。「『授業どうだった?』『—そろそろ食事行かない?』」

(2) 「寛大というか人がいいというか」などの用法は、「言う」㊦㊧㊨を参照。

(『明鏡国語辞典』)

い・う【言う(▼謂う・▼云う)】イ

㊦ 〔他五〕

㊧ 《補助的に》

㊨ 《「A と一か B と一か」の形で》A と B のどちらが適切な言い方か。

「寛大と一か人がいいと一か、全財産を与えてしまった」

(1) 「A と一か B」の形で、A と言うより B と言う方が適切だ、の意で使う。「冷静と一か冷淡な人だ」「時間をかけると一かダラダラ働いている」

(2) 「A と一か B」の「A」だけで言いさして断定を避けるのに使われることがある。「行きたくないとか」

(『明鏡国語辞典』)

てか／つか 話を切り出すときの意味のない前置き。文中でも、「旅行つか、仕事で」と使う。

(『現代用語の基礎知識 2025』、p. 195)

「トイウカ」が本来もっている意味は、先行する発話内容を引き合いに出し、訂正することにあると言える。それに対して、そういった意味合いが失われた若者言葉的用法は、前置きの表現であり、意味のないフレーズとして認識されている。

以上の事柄を踏まえて、先行研究を年代順に概観していく。

●寺井妃呂美(2000)「談話における『トイウカ』の機能」『日本と中国ことばの梯 佐治圭三教授古稀記念論文集』pp. 175-186、くろしお出版

寺井は、談話における「トイウカ」について、使用形式ごとの用例で比較し、話題の転換等で用いられる若者言葉的な用法を除き、用法を「発話訂正」、「補足的発話訂正」、「発話前提訂正」、「暫定的発話提示」の4つに分類した。使用形式と用法の対応を以下に記述する。

- (1) 「Pトイウカ Q」→暫定発話提示・発話訂正
- (2) 「P トイウカ P'トイウカ Q」→暫定発話提示・発話訂正
- (3) 〔独話〕「P. トイウカ Q」→発話訂正・補足的発話訂正・発話前提訂正
- (4) 〔対話〕A(聞き手):「P」
B(話し手):「トイウカ Q」→発話訂正・発話前提訂正

訂正よりも話し手の思考過程を示す役割が大きい点で「暫定発話提示」は他三つの用法と異なっている。訂正の中でも「というより」に置き換え可能な用法が「発話訂正」である。聞き手の理解を促すために使用される語用論的用法が「補足的発話訂正」である。同じく語用論的な用法だが、話し手と聞き手の双方が共通認識としてもっていた前提を訂正するのが「発話前提訂正」である。

「発話訂正」に関し、(3)の使用形式では、「今度こそ必ず合格してみせます。というか(というより)合格しないと卒業できないんです」、「ここに意見を書き込んでください。というか(というより)書いてくれないと困ります」¹といった「意志」や「依頼」のモダリティを含んだ発話場面において、発話内容の実現に動かなければならないという心的負担を「トイウカ」によって軽減する効果があると述べた。

●林千賀(2007)「ブログからみえる若者言葉の『ってゆうか』——社会言語学的研究への示唆——」『国際文化研究所紀要』12巻、pp. 75-90、城西大学国際文化研究所

¹ 寺井、同論文、p. 180

林は若者が書いたブログの中から「トイウカ」が含まれるものを無作為に抽出し、用法ごとの使用頻度を調査した。用法は「①句の言い換え」、「②節の言い換え」、「③トピックシフト」、「④前件や後件の省略」、「⑤前置き」の5つに分類される。「③トピックシフト」は、話題転換のために用いるものであり、語用論的な用法であると言える。一方で「⑤前置き」は、本来「トイウカ」がもつ訂正する機能を全く果たさない用法であり、意味のない前置き表現であるとした。また、「④前件や後件の省略」は、「トイウカ」前後の内容が省略されている中で機能する訂正である。以下に林が挙げた用例を、林による補足とともに示す。

病み上がりなのに温泉日帰り旅行に行っちゃいました？久々に会った友達だったんでちょーおっもしれー日だったけど病み上がりの長距離運転に若干↓(ダウン気味)って感じ？。ってゆうか出発3分後に「ねーさん事件です！」級の事件勃発？信号待ちをしていたら、、、(と続く)²
(括弧内は林による)

若干ダウン気味って感じ？ひどい目に合った。ってゆうか出発3分後にもっとひどい目にあった出発3分後に「ねーさん事件です！」級の事件勃発³
(下線部は林による補足)

林は、「トイウカ」前後が省略されることによって、若者言葉的な新しい用法として見られていたが、独話であるブログの中では言い換えの役割を果たすものであるとしている。

林の調査の結果、これら5つの用法の使用頻度は、「①句の言い換え」、「②節の言い換え」、「③トピックシフト」、「④前件や後件の省略」、「⑤前置き」の順に高かった。ブログ内で用いられていた「トイウカ」の多くは本来の意味合いを残した言い換える機能を持つ用法で用いられており、若者言葉として扱われている、訂正の意味のない語用論的な用法は、比較的使用頻度が低いとした。

●趙剛(2007)「談話標識『というか』の用法と機能」『日本言語文化研究』10号、pp. 1-12、日本言語文化研究会

² 林、同論文、p. 86

³ 林、同論文、p. 86

趙はインタビューの会話資料をもとに「トイウカ」の用法と機能を分類した。用法は「言い直し」、「言い換え」、「付け加え」、「別の話の切り出し」の4つに分類した。「言い直し」は、発話した内容そのものの訂正、「言い換え」は修辭的なレベルでの訂正であるとして区分している。

「トイウカ」の機能について、談話標識としての機能は「発話連結機能」と「会話管理機能」の2つが挙げられると述べた。「発話連結機能」は、先行発話内容と後続発話内容の意味関係を示す役割を果たすものである。「会話管理機能」は、複数人でのコミュニケーションを成立させるにあたって、その進行や会話内の情報の動きをコントロールするものである。具体的には、「発話権を獲得する機能」、「話題を提示する機能」、「話題を転換する機能」の3つを提示している。

また、談話標識としての「トイウカ」に関して、加えて語用論的機能が3つ挙げられている。1つ目は「コンテキスト形成機能」である。「トイウカ」を使用することによって話し手は「発話修正」「情報の具体化」「話題提示」といった後続発話のための文脈を作り出すことが可能になる。2つ目は「認知的制約機能」である。話し手が「トイウカ」を用いることにより、コンテキストが形成され、聞き手が「トイウカ」以降の発話内容を推測しやすくする効果がある。3つ目は「人間関係調整機能」である。はっきりと断定せず、発話内容が不確かであることを表現することによって、話し手は聞き手に対して自身の発話態度を示すことが可能になる。

●原田幸一(2015)「若年層の日常会話における『トイウカ』の使用——縮約形『てか・つか』に注目して——」『日本語の研究』11巻3号、pp.16-31、日本語学会

原田は、「トイウカ」の用法を大きく「発話改正用法」と「話題調整用法」に分け、さらに「発話改正用法」を〈暫定提示〉、〈言い換え〉、〈譲歩補足〉の3つに、「話題調整用法」を〈話題導入〉、〈話題維持〉の2つに分けた。それぞれの用法での「トイウカ」は、〈暫定提示〉は「と言ったらいいか」、〈言い換え〉は「と言うより」、〈譲歩補足〉は「と言っても」、〈話題導入〉は「ところで」と置き換えることが可能であるが、〈話題維持〉の用法のみ別の言葉への置き換えが不可能であると述べた。加えて、「トイウカ」を「と+言う+か」に分解し、これらの構成要素から、自立語である「言う」を取り出し、「トイウカ」の「言う」が言わば「トイウカ」の意味要素の根幹、すなわち語彙的意味を示しているとして設定し、語彙的意味を示すか否かにより「トイウカ」の用法を区分した。その結果、「発話改正用法」の3つは「トイウカ」の語彙的意味を示す用法であるが、「話題調整用法」の2つは語彙的意味を示さないと述べた。

また、主に「というか」の縮約形「てか」「つか」と語彙的意味を示さない「話題調整用法」の使用割合の関連を指摘した。「トイウカ」から語彙的意味を担保する「言う」の脱落が起き、音韻変化が進むにつれて、語彙的意味が失われていったのだと考察できると述べた。これは文法化の特徴である「意味の抽象化」と「音韻の縮約」と一致しており、「トイウカ」は文法化の一事例として認められると主張した。

以上の先行研究で指摘されている用法について、まとめると以下のようになる。

I 発言改正用法(原田)

- i 暫定提示(原田)、暫定発話提示(寺井)
- ii 言い換え(原田)、発話訂正(寺井)、句・節の言い換え(林)
 - ① 言い直し(趙)
 - ② 言い換え(趙)
- iii 補足的発話訂正(寺井)、付け加え(趙)
 - ① 譲歩補足(原田)
- iv 発話前提訂正(寺井)
- v 前件や後件の省略(林)

II 話題調整用法(原田)

- i 話題導入(原田)、話の切り出し(趙)
 - ① トピックシフト(林)
 - ② 前置き(林)
- ii 話題維持(原田)

「トイウカ」本来の意味をもつ用法について、他の語との互換性によって分類されているものがほとんどだが、それによってむしろ、置き換えが不可能な用例を若者言葉的な用法であり意味をもたないものであるとひとまとめにしている印象がある。一方で、「トイウカ」を使用状況によって用法の細分化を過度に行っているように考えられる。

しかしその中では、本来の意味をもつ用法のみに注目して分類を行っている寺井(2000)が主張する用法は、枠組みに関して言えば同意できると考えている。しかし、「トイウカ」を用いる形式によってそれぞれの用法が限定されている点に疑問が残るところである。

今回行う調査については、原田(2015)を参考に行う。原田の論文では「トイウカ」の構成要素から自立語として成立する「言う」を取り出し、「言う」の意味を残しているかどうかに関心を持って調査を行っていた。しかし、「トイウカ」は、「という」により先行して述べていることを引き合いに出し、「か」により疑問を示すことで訂正する構成で成立する一単語として扱われている。文法化の観点から「トイウカ」を見る時、縮約されるなどによる「言う」の意味の脱落は一つの基準になりうるが、単に自立語としての「言う」のみでは「トイウカ」としての意味合いを一単語として捉えきれていないと考えた。したがって、本論文では、「トイウカ」の本来の語彙的意味を「トイウカ」を分解せず、一単語として捉えた際の意味内容から考え、先行する発話内容を訂正し、会話をより適切な方向へ向けることに置くことにした。それに伴って、用法の分類について改めて再検討を行うことにした。

「トイウカ」の機能については、趙(2007)によって、本来の用法も若者言葉的な用法も対話をコントロールする談話標識として機能しており、コミュニケーションを円滑にするための一助となっているとされた。しかし、これらの調査から時間が経過していることや、言語活動の場がインターネットへと拡大し、相当数がSNSに触れている状況に変化していることから、「トイウカ」の使用実態が変化している可能性があるため、改めて調査する価値があると考えた。

また、インターネット上の独話においては、林(2007)の調査により2007年時点では訂正の意味での用法が主であることが分かっている。

しかし、現在ブログに関して、閉鎖しているウェブサイトも少なくはない。その一方で、SNSは2010年代から急速にユーザー数を拡大させている。私たちが日常生活で行っている談話へと与える影響の大きさは異なっていると予想できる。また、日記にも似た記録としての要素が強いブログと、記録に加えリアルタイム性があるSNSとでは言語活動の行われ方も異なると考えられる。このことから、林の調査を行った時点と現在では、インターネット上での発話状況に乖離があると考えた。

3 調査方法

本論文では、Twitterを用いて調査を行った。

石井(2017)は、SNSでの発話について、現実とのつながりが希薄な不特定多数が利用できるプラットフォームでは話し言葉やくだけた表現が使用される傾向にあると分析した。

このことに加え、Twitter は不特定多数に開かれた SNS であること、テキストがメインの SNS であり、その中でもユーザー数が多いことから、言語活動を SNS に広めた中での使用実態に注目する今回の調査に適していると考えた。

調査にあたり、Twitter の検索機能を用いて、「とつか」、「とゆーか」、「てつか」、「てゆーか」、「てか」、「つーか」、「つか」、「ちゅーか」が含まれる投稿をそれぞれ 200 例ずつ、計 1600 例抽出し、Excel で集計した。調査対象は、現在の「トイウカ」の使用実態を調査するため、2025 年の投稿に限定した。一方で、投稿をした者の属性や投稿内容のジャンル等については投稿やプロフィールから特定することができないため、限定しなかった。これらの用例を、後述の 5 つの用法に分類することによって、語彙的意味の有無が、表記を含めた使用実態との関連を示すかどうかを明らかにする。

4 調査結果

今回の調査の結果、用法は「I 暫定提示」、「II 言い換え」、「III 補足」、「IV 前提訂正」、「V 話題導入」の 5 つに分類可能であった。一部、寺井(2000)の用法分類と一致しているが、寺井が「トイウカ」の使用状況の形式に着目して用法分類を行ったのに対し、「トイウカ」自体の意味内容から分類を行っている点が異なる。具体的な分類の判断基準は、「トイウカ」が本来もっている語彙的意味を有しているかどうか、「トイウカ」の意味が影響する対象は何かの 2 点に置いた。この 2 つの観点から各用法を見た時の相違点を下の表 1 にまとめた。「トイウカ」本来の語彙的意味を示す場合は「○」、示さない場合は「×」で表記している。

表 1 各用法の語彙的意味の有無と訂正の対象

	I 暫定提示	II 言い換え	III 補足	IV 前提訂正	V 話題導入
語彙的意味	○	○	○	○	×
訂正の対象 P トイウカ Q	P 及び Q	P	P から想像 した解釈	発話前提	—

以上のことを踏まえて、次項では実際に得られた用例とともに 5 つの用法の特徴を述べる。

4.1 用法分類

ここでは今回の調査で分類した I～V の用法の特徴を述べる。その際、「トイウカ」を用いる形式に関して、「トイウカ」に前接する発話内容を「P」とし、後接する発話内容を「Q」とする。また、用例内の下線は筆者によるものである。

I 暫定提示

「P トイウカ Q」において、本来の語彙的意味をもっており、かつ P も Q も語彙選択に際し適切ではないものであるとし、話し手によって両者が訂正の対象に設定される場合、これを「暫定提示」に分類する。「暫定提示」では、P 及び Q において、表現のレベルでの訂正が主であることや、「トイウカ」の前後で品詞の変更があったり、句や節に言い換えたりといった表現形式の変更が多いことも特徴に挙げられる。「暫定提示」の用例は全体の中で 19.8%(1600 例中 317 例)を占めた。

「暫定提示」の用法では、断定を行わず、常に語彙選択の迷いが表れている。そのため、「P トイウカ P' トイウカ Q」のように、繰り返しの形で使用されることも多く、言葉の選択における思考過程を示している。繰り返しの形で用いられている「トイウカ」は「暫定提示」の用例の 39.7%(317 例中 126 例)だった。

さらに、「何というか」のように「何」とともに使用されたり、Q を省略することも多く、語彙の選択を放棄し、読み手に提示した表現から意図を汲み取ってもらう構成を取っている場合が多い。「何」と接続する形で用いられている用例は「暫定提示」の用例の 32.8%(317 例中 104 例)で、Q を省略する形で用いられている用例は 27.1%(317 例中 86 例)だった。

以下に実際の用例を示す。

(1) まあ、やっぱりそんなにすんなりいくわけないよね、だって🐕さんと🐶さんだもの😓
ていうか、このじれじれというか、躊躇みたいなのこそ、めっちゃリアルだと思うんだよね。ご都合主義？知らない子ですね、みたいな😂😂😂 まあご都合主義はそれはそれで面白かったりするけども😓⁴

(2) 最近、娘からの愛がすごいです…

爪が食い込むほど強く掴まれ、たっぷりなほっぺで窒息させられると思うぐらいの圧で押し付けられ、この後ヨダレじよばじよばのお口を顔面に擦り付けられます…

⁴ 風 (ふう) (@fuu8moon)、2025 年 10 月 31 日

<https://x.com/fuu8moon/status/1984252844678271212>

嬉しいんですが、もう少し何というか、手心というか…

#育児絵日記 #1 歳6ヶ月⁵

(3)エース本当に顔がうるさいというか賑やかというか騒がしいというかなんというか大好き⁶

用例(1)における「トイウカ」は、P「じれじれ」という表現を否定しつつ、代わりの表現としてQ「躊躇みたいなの」と述べ、「みたいなの」という表現で「躊躇」であると断定しないことにより、P及びQが伝えたいことの本質を掴みきれていない暫定的な表現であることを示していることが分かる。

用例(2)、用例(3)は、「Pトイウカ P'トイウカ Q」のような繰り返しの形で用いられる例かつ、「何」と接続し、「何というか」の形で用いられている例である。

用例(2)は、先行する「トイウカ」においてP「何」と接続して用いている。先行して「何というか」と提示することによって、娘に対しての要求を述べることへの躊躇感を示し、その要求の内容としてP'「手心」を提示する。しかし、P'「手心」にも「トイウカ」を接続し、それ以降は三点リーダーとともに省略し、濁されている。自分の娘の半ば乱暴な行動への拒否の気持ちと我が子への愛らしさを、「暫定提示」の「トイウカ」を以てしてあえて恭しい態度を示した文章で表現した投稿である。

用例(3)は、繰り返し「トイウカ」で表現を複数提示した後、「なんというか」により表現の迷いを示し、「大好き」という言葉で文章を締めくくっている。P「エース本当に顔がうるさい」に対し、「エース」の表情が常人の平均よりも卓越して豊かであることを表わす言葉が断定的に提示されないまま、「大好き」という「エース」への自分自身の感情の発露に落ち着いていることから、Pに代替する表現が未確定であると判断できる。したがって、この場面での「トイウカ」は「暫定提示」の用法で用いられていると分かる。

II 言い換え

「Pトイウカ Q」において、本来の語彙的意味をもっており、かつPのみが訂正の対象となり、代わりの表現として採用したQが、話し手によってより適切であると断定的に位

⁵ __Sayuri.(@hana1957483)、2025年11月3日

<https://x.com/hana1957483/status/1985001120742433135>

⁶ 柊木🍒(@hiiragi_No1)、2025年11月4日

https://x.com/hiiragi_No1/status/1985673752013848854

置づけられる場合、これを「言い換え」に分類する。「言い換え」の用法で用いられている用例は、全体の中の 21.4%(1600 例中 342 例)を占めた。

「言い換え」の用法では、P 及び Q において、語彙選択といった表現のレベルでも内容のレベルでも使用される。「言い換え」の全用例の中で、表現のレベルで用いられているのは 72.5%(342 例中 248 例)、内容のレベルで用いられているのは 27.5%(342 例中 94 例)だった。

以下に実際の用例を示す。

(4)投資記録や情報収集のために始めた X だったけど仲間ができて楽しくなる。そこまではいいけど、そこからその仲間の資産に嫉妬して悪口言ったりする女性は多い。株クラだけでなく、女社会にもよくあるけど、仲良い、というか親しくしてるのにその人の悪口を言う人って意外に多いね。ママ友とかにもある。⁷

(5)(「X に漫画投稿したいんだけど、どしたらいいかな 🤔」⁸という投稿の直後)X ってゆーか、pixiv に投稿して、リンク貼ればいいのか。⁹
(括弧内は筆者による)

(6)#ビヨフェス
Juice=Juice を、というかハロプロのグループ自体を初めてライブで観てけっこうな衝撃だった
「ひとりで生きられそうって～」しか知らなかったけど、高クオリティなパフォーマンスで飽きる時間がなかった
ダンス系の楽曲が続いてからの、ラストが真っ直ぐなバンド系サウンドの曲で胸にきた
10

⁷ 🌸 ままねこ 🐱 🌱 (@mamanekoinvest)、2025 年 11 月 2 日
<https://x.com/mamanekoinvest/status/1984791961682002211>

⁸ ましまろ。(@Masyumaro0908)、2025 年 12 月 27 日
<https://x.com/Masyumaro0908/status/2004585123912761656>

⁹ ましまろ。(@Masyumaro0908)、2025 年 12 月 27 日
<https://x.com/Masyumaro0908/status/2004585265646731442>

¹⁰ たのぼー(@tanobo)、2025 年 11 月 2 日
<https://x.com/tanobo/status/1984933435627196544>

用例(4)では、女社会の上辺だけの交友を述べるにあたり、P「仲良い」を、交友関係を築いた後の顛末として「悪口を言う」が確定していることから関係性を表わす表現として本質的に不適切であるとし、Q「親しくしてる」と心情より行動に重きを置いた表現に言い換えていることが分かる。

また、用例(5)、用例(6)は「トイウカ」の訂正が表現のレベルに留まらず、内容レベルで訂正している例である。

用例(5)は Twitter に漫画を投稿するにあたりその方法について迷っているという内容の投稿をした後のものである。P「X(に直接画像を投稿する)」を先の投稿から引用し、より適切な代替案として Q「pixiv に投稿して、リンク貼ればいい」という手立てを示している。

用例(6)は、Q「ハロプロのグループ」を初めて観たことを伝えるにあたり、ライブ内で観たアーティストである P「Juice=Juice」を例示的に用いていることから、「言い換え」を前提として P を提示した用例であると言える。

Ⅲ補足

「P トイウカ Q」において、本来の語彙的意味をもっており、かつ Q が P の内容の詳細を述べたものであったり、補足的な内容を示すものである場合、これを「補足」に分類する。「補足」の用法により訂正される対象は、P そのものではなく、話し手の発した P を手掛かりに、読み手が想像し解釈した内容である。したがって、P 及び Q において表現のレベルで用いられることはなく、内容レベルのみで使用される。他の用法と比べ、先行する発話内容への否定の意味合いが薄く、先行研究では若者言葉的な用法の一部として捉えられるものもあったが、「トイウカ」後の Q が P への再解釈を促していることや、「トイウカ」前後で話題の変換が無いことから、訂正の意味合いをもつ「補足」と定義した。「補足」の用法で用いられている用例は、全体の中の 4.8%(1600 例中 76 例)を占めた。

「補足」の用法では、訂正の意味合いを比較的強く示すものと、具体性を高めることによって内容の理解度を高めるものの 2 つのパターンがある。訂正の意味合いを強く示す用例は 43.4%(76 例中 33 例)、具体性を高める用例は 56.6%(76 例中 43 例)だった。

以下に実際の用例を示す。

(7)1月シフト未だに出なくてももうイライラ。てゆうかこっちには期限設けといて月初めの前日にシフト確定とかもう従業員舐めすぎでしょ。私の店です。¹¹

(8)クリスマス・イヴは中野 moonwalk でDJ でした🎵🎅🎄
楽しかったあーー🌟🌟
誕生日のお友達も来てくれたのでテキーラ ALL IN キメたよ!!w
けど自分酔っ払い過ぎて動画も写真も残ってない…てゆうか真っ暗な動画だけがい
くつか残ってた😓¹²

(9)はすまやデズニー曲似合うよねとゆうかいつ歌い出しても私は驚きません¹³

(10)今日はミュージカル『新テニスの王子様』
The Fifth Stage 岐阜公演初日～🎯
今日もありがとうございました！
岐阜からは、デューク役の大久保圭介くんが加わり更にパワーアップ！
てか、デューク、いろいろ普通に笑っちゃいました😂気になった方は是非、岐阜公演へ
🌹
3日間で短くて、寂しいですが、皆さんをお待ちしてます🙇
明日もよろしくお祈りします🙏
#メダノレ #當間ローズ #デューク #大久保圭介¹⁴

用例(7)、(8)は「補足」の中でも訂正の意味合いを強く示す例である。

¹¹ 🙇🏻, 🌟🎵 (@Aki_pyonnnnnn)、2025年12月27日

https://x.com/Aki_pyonnnnnn/status/2004733402562658804

¹² 緋咲光里 (@hizakihikari)、2025年12月27日

<https://x.com/hizakihikari/status/2004773684406624651>

¹³ どな 🍷 (@dona31858557495)、2025年11月22日

<https://x.com/dona31858557495/status/1992221897438974382>

¹⁴ 當間ローズ (@touma_rose)、2025年10月31日

https://x.com/touma_rose/status/1984243440427978832

用例(7)は、P「1月シフト未だに出なくてもうイライラ」をQ「こっちには期限設けていて月初めの前日にシフト確定」により、「イライラ」の理由をさらに詳細に語っているものである。Pのみでは、単に翌月のシフトが出ていないだけで怒りを覚えていると解釈可能である。しかし、Qで補足することによって、怒りの原因はシフトが未だに出ていないことのみならず、従業員にはシフト決定に関してスピードを求めているのに対し、自分自身はスピード感に欠ける仕事ぶりを見せる、雇用主のダブルスタンダードな業務態度にもあるということが分かる構成になっている。

用例(8)は、P「動画も写真も残ってない」のみでは泥酔により動画や写真を1枚も撮っていないと解釈することも可能なため、Q「真っ暗な動画だけがいくつか残ってた」と撮ったうえで投稿が不可能であることを補足的に説明し、誤解の訂正を図っているものであると言える。

用例(9)、(10)は「補足」の中でも具体性を高める役割を果たす例である。

用例(9)は、P「はすまやデズニー曲似合う」に対し、Q「いつ歌い出しても私は驚きません」によって、「はすまや」と「デズニー曲」の相性がどれほど良いかについてその度合いを示したものである。

用例(10)はP「デューク役の大久保圭介くんが加わり更にパワーアップ」に対し、Q「デューク、いろいろ普通に笑っちゃいました」により、「大久保圭介」の加入による「パワーアップ」の内容をさらに具体的に述べているものである。

IV前提訂正

「P トイウカ Q」において、本来の語彙的意味をもっており、かつ直接発話内容を訂正しているのではなく、発話内容の前提となっている情報を訂正している場合、これを「前提訂正」に分類する。「前提訂正」は、「トイウカ」の影響の範囲が広く、発話の前提事項を訂正するため、「トイウカ」の直前に発されるPのみではなく、「トイウカ」以前の発話内容全てに影響する点が他の用法とは異なっている。「前提訂正」の用法で用いられている用例は、全体の中の6.4%(1600例中102例)を占めた。

以下に用例を示す。

(11)おはゆる(中国国旗の絵文字)♡

昨日のチャイナコスプレ(ぼっち)の写真だによー！！！！

縦画面での写真も後で載せる！てか前回のコスプレもまだ写真ある！

今日のコスプレ撮影会楽しもーね 📷❤️¹⁵

(12)嫉妬深い彼女がいる男性は絡んでこないでくださいフォローもしてこないでください!!

!!!彼女さんからDMくるのに毎回対応するの大変です!!!てかそんな不安にさせてくる男なんか捨てちまいな!!!! もっといい男がいるよ!!¹⁶

(13)(「配信者は普通にめっちゃやりたい。YouTube もうやってるし……」¹⁷という投稿の直後)つかゲーム配信やったことあるわ¹⁸

(括弧内は筆者による)

上に挙げた用例(11)、(12)、(13)では、全て訂正の対象であるPが語られていないが、文中で生じたミスリードを「トイウカQ」の形で訂正している。

用例(11)は、コスプレをした際の写真とともに投稿された文章である。画角が横になっている写真を載せ、「縦画面での写真も後で載せる」と述べることにより、今後発信者が載せる写真について、読み手側は「チャイナコスプレ」の写真にフォーカスさせられるが、「前回のコスプレもまだ写真ある」と追記し、載せる写真の対象を訂正している。この場合のPは文中で語られない「今後しばらく投稿可能な写真は昨日のチャイナコスプレのもののみである」ことであり、Qは「てか」以下の「前回のコスプレもまだ写真ある」である。

用例(12)も同様に、「嫉妬深い彼女」から送られてくるダイレクトメッセージに辟易している旨を語り、P「嫉妬深い彼女の方に多分に悪質な側面があり、嫌っている」という印象を読み手に抱かせるが、Q「そんな不安にさせてくる男なんか捨てちまいな」によって悪

¹⁵ 寝坊助 ゆる【MEOWMEW】1/26 初ワンマンライブ@池袋

harevutai(@MEOWMEW_YURU)、2025年10月31日

https://x.com/MEOWMEW_YURU/status/1984108055391564273

¹⁶ みさえお(@mogumogupepe)、2025年11月5日

<https://x.com/mogumogupepe/status/1985926338243596496>

¹⁷ トモエ 🍊🍌 (@Sy6bjM)、2025年12月25日

<https://x.com/Sy6bjM/status/2004186401894813966>

¹⁸ トモエ 🍊🍌 (@Sy6bjM)、2025年12月25日

<https://x.com/Sy6bjM/status/2004186442315252216>

質なのは「嫉妬深い彼女」ではなく彼女たちと付き合っている「男性」たちの方であると訂正している。

用例(13)においても、配信者になりたい旨を述べ、P「これまで配信をしたことがない」と思わせた後に、Q「ゲーム配信やったことあるわ」によって、配信をすることは全くの新しいチャレンジの体験ではなく、継続的に配信をする者としてスタートしたいという旨の投稿であると訂正している。

V 話題導入

「トイウカ」本来の語彙的意味をもっておらず、かつ「トイウカ」の後で新たな話題が展開される場合、これを「話題導入」に分類する。他の用法と異なり、情報を訂正する意味合いをもたないことが特徴である。若者言葉として扱われる際の用法がこれにあたる。

「話題導入」の用法で用いられている用例は、全体の中の 47.7%(1600 例中 763 例)を占めた。

「話題導入」の用法において、Twitter のような投稿の多くが独話の文章であるプラットフォームでは、その多くが自身が展開していた話題から別の話題へと転換するために用いられる。しかし、今回調査を行う中で、文脈の無い状態から「トイウカ」で発話を始める用例も複数見られた。林(2007)は、前者のような文脈がある状態から発話される「トイウカ」を「トピックシフト」、後者のような文脈の無い状態から発話される「トイウカ」を意味の無い「前置き」の用法で用いられたものであり、若者言葉的な用法にあたるものとして扱った。しかし、話題の節目に用いられる「トイウカ」が果たしている役割は、「トイウカ」以前の文脈がどのようなであろうと、話し手が発話したい内容をスムーズに発話させることにあるとし、「トイウカ」以前の文脈に依拠しないと考えたため、今回は同一の「話題導入」の用法として定義した。

以下に用例を示す。

(14)バーミヤン 🍜

今日はデミグラつけ麺の予定が…

夜営業やってなかった 🤦

仕方がないので

バーミヤンへ 🚗 📍

海鮮おこげの餡が少なすぎて真っ白なおこげだらけに 😬 がガリ

つか

バーミヤンの杏仁豆腐 好き ❤️

胡麻団子も美味しいよねえ 😊
ご馳走様でした♥¹⁹

(15)久しぶりに朝ごはん呟いてみる 🍞
今日は珍しく松屋 🍣
てかもうすぐ 33 歳だわ。
仕事しながら迎える予定 😊²⁰

(16)「ぽろろ〜ん #死者の日」²¹という投稿の翌日) てか何？ずっとねむいんだけど、寒くなったから？²²

用例(14)、(15)は、発話の最中に話題を転換するにあたり、「トイウカ」を用いている例である。発話途中で用いられる用例は、「話題導入」の用例において、78.6%(763 例中 600 例)を占めていた。

用例(14)は、夕食を食べるために「バーミヤン」に来店したという話題をメインに取り上げた文章である。夕食的一幕で起きた「バーミヤン」の「海鮮おこげ」にまつわる出来事について言及した後、「つか」以降は「バーミヤン」の「杏仁豆腐」や「胡麻団子」を高く評価している旨を述べている。同じ「バーミヤン」の話題の中でも「トイウカ」前後で言及する対象が異なっており、別件へと移行するための談話標識として「トイウカ」が使用されていることが分かる。

用例(15)は、冒頭の文章ではその日の朝食について書き込む旨を述べているが、「てか」を使用した後は自身の誕生日が近いことについて言及している。「トイウカ」前後の話題はそれぞれ無関係であり、別の話題への導入として「トイウカ」を用いていることが分かる。

¹⁹ E(@Eru20240502)、2025 年 12 月 9 日

<https://x.com/Eru20240502/status/1998394459957129533>

²⁰ 軍曹@ガルバ社長(@DONPY_Earth)、2025 年 11 月 5 日

https://x.com/DONPY_Earth/status/1985837249125367913

²¹ ぐでたま【公式】🌀👇(@gudetama_sanrio)、2025 年 11 月 2 日

https://x.com/gudetama_sanrio/status/1984863084599787669

²² ぐでたま【公式】🌀👇(@gudetama_sanrio)、2025 年 11 月 3 日

https://x.com/gudetama_sanrio/status/1985149973051429057

用例(16)は、発話に至るまでの文脈が無い状態で「ていうか」を用いて話題を切り出している例である。用例(16)以前には、メキシコの伝統行事である死者の日まつわる投稿がなされているが、この投稿から用例(16)が投稿されるまでの間に日をまたいでいることや、用例(16)の内容とは関連がないことから、話の切り出しに「トイウカ」を用いていると考えられる。こうした文脈が無い状態から「トイウカ」が発話される用例は、「話題導入」の用例の中で21.4%(763例中163例)を占めていた。

4.2 各形式の語彙的意味の有無

先に述べた5つの用法をもとに、Twitterの投稿1600例を語彙的意味の有無の観点から分類した結果が、以下の図1である。「トイウカ」の構成要素である「ト」あるいは「トイウ」の形式によってグループ分けを行い、「ト系」、「テ系」、「ツ系」、「チュ系」の4つに分けた。また、グループ内での順序は、より書き言葉に近いものから順に記載している。

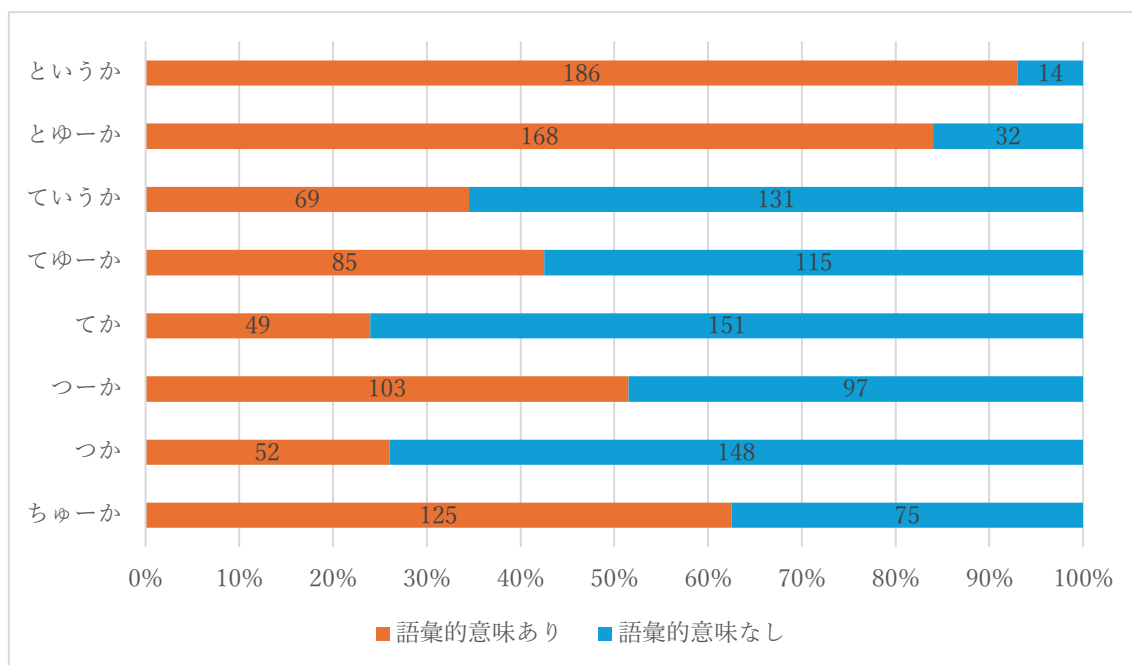


図1 「トイウカ」各形式の語彙的意味の有無

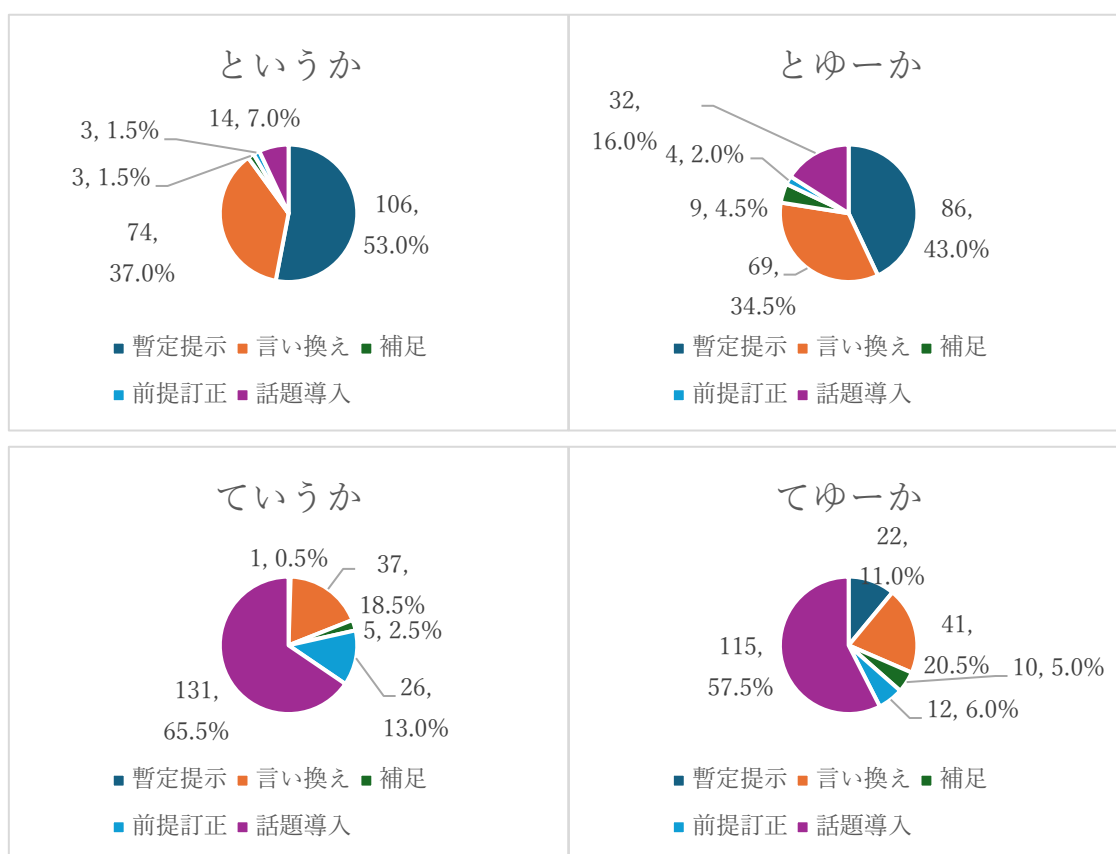
語彙的意味をもつI~IVの用法で多く使用されたのは「というか」、「とゆーか」、「つーか」、「ちゅーか」の4つであり、語彙的意味をもたない「V話題導入」の用法で多く使用されたのは「ていうか」、「てゆーか」、「てか」、「つか」の4つであった。

今回の調査では、「ていうか」、「てゆーか」、「てか」といった「ト」が「テ」に変化したテ系と、縮約形「てか」、「つか」といった縮約形のものが、66.3%(600例中398例)と語彙的意味をもたない用法で用いられている割合が多いことが分かった。

一方で、ト系・チュ系に関しては、形式に関わらずそれぞれ、88.5%(400例中354例)、62.5%(200例中125例)と語彙的意味をもつ用法で用いられている割合が大きいという結果になった。

ツ系では、形式によって割合が異なる結果となった。縮約形である「つか」は、74.0%(200例中148例)と語彙的意味をもたない用法で使用されている割合が多かった。一方で、「つーか」では、語彙的意味をもたない用法で用いられていたのが48.5%(200例中97例)であり、大きな差は見られなかった。

それぞれの形式で用いられた用法の内訳を示したグラフを以下に提示する。



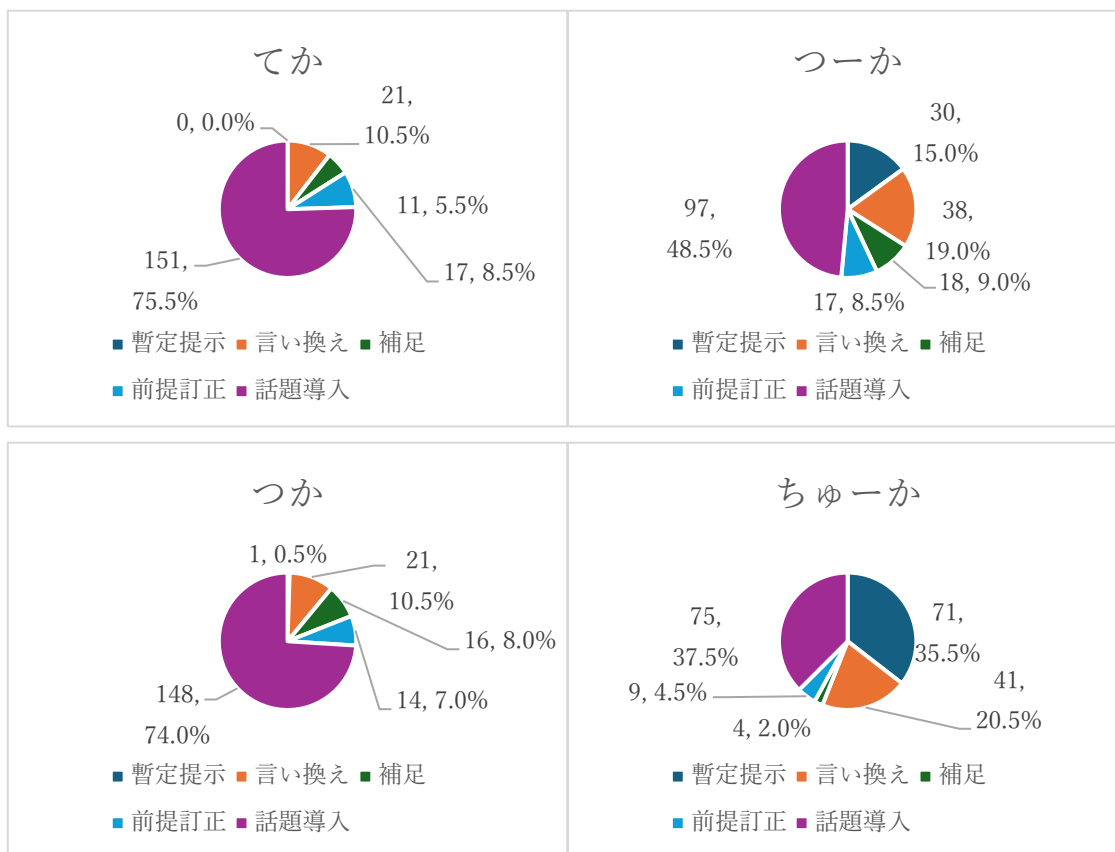


図 2 各形式で使用された用法の割合

5 考察

5.1 語彙的意味の有無との関連

5.1.1 形式による語彙的意味の有無との関連

先行研究である原田(2015)の調査では、「てか」、「つか」といった縮約形で、語彙的意味が失われている用法での使用が多いという結果が見られた。文法化により、「トイウカ」の中で、語彙的意味の根幹を担う「言う」の要素が脱落した縮約形では、「トイウカ」が元々もっていた「言い表す」という意味が失われているとした。

今回の調査では、「トイウカ」の本来の用法と若者言葉的な用法を、「トイウカ」の構成要素である「言う」に限定するのではなく、「トイウカ」自体の意味内容から捉え、訂正の意味を「トイウカ」の意味の根幹であると設定し直して用例を分類したが、ト系では語彙的意味をもつ用法での使用割合が高く、縮約形で語彙的意味をもたない用法での使用割合が高いという同様の結果が得られた。その一方で、全体として語彙的意味をもたない用法の使用割合が拡大していることも分かった。特に拡大傾向が見られたのは、話し言葉的な形式であるテ系、ツ系、チュ系である。その中でもとりわけテ系は語彙的意味をもたな

い用法の使用割合が優位になっている。反対にチュ系では比較的語彙の意味をもたない用法の使用への抵抗が見られ、「つーか」では両者の割合が拮抗する傾向が見られた。これに関し、「I 暫定提示」の用法で用いられる形式に起因していると考えられる。チュ系及び「つーか」では、「何」と接続して「何つーか」、「何ちゅーか」という形式で用いられる用例が多く見られた。²³その結果として「I 暫定提示」の用法での使用が多くなっているのではないかと考えられる。

また、「I 暫定提示」の用法に関し、語彙の意味をもつ用法が優位になっているト系においては繰り返しの形で用いている用例が多かった²⁴。一方で、先に述べたように、語彙の意味をもつ用法ともたない用法の使用割合が拮抗している形式では「何」と接続する用例が多く、語彙の意味をもたない用法が優位なテ系や縮約形に関してはそもそも「I 暫定提示」の用例自体が少ない。さらに、「III 補足」と「IV 前提訂正」の用法に関し、語彙の意味をもたない用法が優位である形式において使用割合が大きくなる傾向が見られる。

これらのことから、語彙の意味をもたない用法が優位になるとともに、語彙の意味をもつ用法内でも直接的な訂正からより間接的な訂正が優位になると考えられる。したがって、語彙の意味の喪失が、「トイウカ」の用法全体に影響している可能性があると言えるだろう。

5.1.2 表記による語彙の意味の有無との関連

今回の調査では、テキストによる表現がメインである Twitter を用いて調査を行ったため、表記と語彙の意味の有無、そして入力コストとの関連を捉えていきたい。

ト系とテ系において、「とつか」と「とゅーか」、「てつか」と「てゅーか」といった、書き言葉的な仮名遣いの表記と口頭での発音を表した話し言葉的な表記での用法の違いを分析する。

語彙の意味を示す用法での使用割合について、「とつか」では 93.0%、「とゅーか」では 84.0%を示し、「てつか」では 34.5%、「てゅーか」では 42.5%を示した。つまり、書き言葉的な表記であるよりも、話し言葉的な表記である方が語彙の意味をもつ用法ともた

²³ 「つーか」では「I 暫定提示」の用例の内、86.7%(30 例中 26 例)が「何つーか」の形式で用いられていた。「ちゅーか」では「I 暫定提示」の用例の内、83.1%(71 例中 59 例)で「何ちゅーか」の形で用いられていた。

²⁴ 「とつか」では 51.9%(106 例中 55 例)、「とゅーか」では 62.8%(86 例中 54 例)が繰り返しの形で用いられていた。

ない用法の使用割合が拮抗する傾向にあるという結果が見られた。よりくだけた表現である「とゆーか」、「てゆーか」のような表記と、若者言葉的な用法である「V話題導入」との間に直接的な相関関係は認められなかった。

また、入力コストの観点からも調査結果を分析したい。入力コストの大きさは、キーボードでは「とゆーか」と「てゆーか」、「というか」と「ていうか」と「ちゅーか」、「つーか」、「てか」と「つか」の順に大きく、スマホのかな入力では「ちゅーか」、「というか」と「とゆーか」と「ていうか」と「てゆーか」、「つーか」、「てか」と「つか」の順に大きい。入力方法によって多少異なるが、「てか」、「つか」の縮約形は、どちらの場合においても入力コストが少ないことが確認でき、今回の調査の結果、縮約形において、語彙的意味をもたない用法での使用割合が多いことが確認できた。その一方で、他の形式では入力コストと語彙的意味の有無に関連は見られなかった。「トイウカ」の縮約形において、対話の場面に関しては、先述の通り原田(2015)が、文法化と関連付けて語彙的意味をもたない用法での使用割合が多くなることを指摘している。発話方法が異なる Twitter においても同様の結果が見られたことから、入力方法やそれに伴うコストは「トイウカ」の形式や語彙的意味の有無と関連が薄いと考えられる。

5.2 「トイウカ」のもつ機能

ここでは、今回の調査で収集した用例を通して確認できた「トイウカ」の機能について記述したい。今回の調査では主に独話を対象として扱った。その中で、読み手に対して読解における配慮を示す機能が3つ確認できた。以下に用例とともに記述する。

① 発話緩衝機能

発話する際に発生する支障を和らげるクッションとしての役割を果たす。特に、「I 暫定提示」や「II 言い換え」の用法で多く確認された機能である。この機能がはたらく対象は、語彙選択のレベルでの支障と発話内容のレベルでの支障の2つの場合が見られた。

語彙選択のレベルでの場合、「P トイウカ Q」において、P で提示した言葉を「トイウカ」を用いて訂正することによって、P を使用することにより生じた語弊を和らげる効果がある。ここで Q として提示される言葉は、P の意味も内包した漠然としたものである場合が多い。

発話内容のレベルでの場合、「P トイウカ Q」において、特に Q を省略する形式や、「何」と接続する形で「トイウカ」が用いられる形式の「I 暫定提示」の用法で見られた。Q の省略により語彙の選択を放棄したり、「何」と接続して語彙選択に難しさを感じ

ていることを示すことによって、これから発話する内容への躊躇感を、修辭的な難しさと重ねて読み手に伝える効果を示す。これは、メイナード(2005)が主張していたことと部分的に共通している。

「というか」・「ていうか」が前置きとして使われると、より本音に近いことを伝える態度を示すため、親密感や信頼感が助長される。発話の調整を通して自分の傷つきやすさや弱さを伝えながらも、結局は思っていることを主張する行為や、断言する態度を伝えることができる。

(泉子・K・メイナード『[日本語教育の現場で使える] 談話表現ハンドブック』、pp. 303-304)

メイナードは、前置きとして文頭に置かれる若者言葉的な用法の「トイウカ」に本音など言いづらいことを言う時の予防線の役割を確認したと述べているが、提示している用例が「や、ちょっと、眠れなくてさ。うん。(＃)ていうか、さみしい、っていうか」²⁵のように、用法の分類としては、本論文の分類上では「I 暫定提示」や「II 言い換え」の用法で用いられている用例のみであったため、今回の調査で確認できた機能と一致していると考えられる。その機能が、不特定多数に発信する独話においても作用することが確認できた。

以下にそれらの機能がはたらいっている用例を示す。

(17) 麵処はら田@南浦和

【限定】秋刀魚節の中華そば

デフォの醤油のそばを大胆に改良した様な限定 🍜

もう節ですぶっしぶしです 😊👍

ネギの切り方や盛り付けのせいか良い意味で田舎っぽいというか井からいい雰囲気が出てます 🍜

麵より先にスープが減ってく 🍜 !!

ご馳走様でした 🍜 ✨ 199 26

²⁵ 泉子、同掲書、p. 304

²⁶ とっと@29METAL 【酔ってる時はたっさに改名】 (@n2RNUTGxqt33py2)、2025年11月1日

<https://x.com/n2RNUTGxqt33py2/status/1984366790248710478>

(18)何ちゅーかひとつの終わり、って感があるね
調教師試験合格発表の日って
寂寞というか虚無感というか²⁷

用例(17)は語彙選択のレベルで機能がはたらいっている用例である。この投稿において、Pは「良い意味で田舎っぽい」であり、Qは「井からいい雰囲気が溢れてます」である。Pで提示した言葉に対し、QはPの状態を包括し、さらに意味合いを広く解釈できるようなぼやけた表現を採用している。Pの方がより詳細であり、正確さを求めた表現であるが、その一方で、解釈の仕方によってはマイナスの意味合いも含みかねない表現であるとも言える。この場面では、「トイウカ」を用い、Qを提示することで、Pよりも良い表現があることを示唆させ、Pの言葉を選んだことにより生じた語弊を和らげていると言えるだろう。

用例(18)は発話内容のレベルで機能がはたらいっている用例である。先行してP「何」と接続した「何ちゅーか」を発話していることから、「I 暫定提示」の用法でも、単に適切な語彙を選択するためのプロセスを見せるものではないことが分かる。Qに「ひとつの終わり」を提示し、加えて「寂寞」や「虚無感」という言葉を用いて「調教師試験合格発表」に対する感情を述べている。合格の喜び、あるいは不合格の悲しみの二極になりがちな「合格発表」の場で、通常予想される感情とは別の、寂しさを感じていると正面から述べることに對する抵抗感を、「何ちゅーか」と前置きすることによって表していると言える。

② 説明提示機能

「P トイウカ Q」の形式において、Pで一般に知られている語を提示し、「トイウカ」でより適切な語としてQを提示することによって、Qの理解を促す機能が確認された。加えて、自らの語彙選択の独自性を担保させる効果をもつ。特に「II 言い換え」の用法で多く見られた。以下に用例を示す。




(19)レポというか夢？²⁸

²⁷ リナノレインボー*(ㄨ ㄛ ㄛ) 🌈 🍊 🍌 🍌 (@RINANORAINBOW)、2025年12月11日

<https://x.com/RINANORAINBOW/status/1998998281490412028>

²⁸ もつに(@nikumottooo)、2025年10月27日

<https://x.com/nikumottooo/status/1982820901751034045>

(19)リプライ が🎭のほったぶたぶむにむに触ってたんだよ～かわいかった…位置もそのままフィルターかけずに描いてもこれ²⁹

用例(19)において、Pは「レポ」であり、Qは「夢」である。話し手は『ヒプノシスマイク』の演劇を観覧した際に印象に残った一場面をイラストとして同時に投稿しており、後日リプライにて一場面を描いたイラストの補足をしている。客観で述べるならば、投稿しているイラストが果たしている役割は、観劇の際何を見たかの「レポ」の方がより正確な表現である。しかし、話し手にとって観劇にあたり見たものは、平生から「フィルター」をかけて無理やりにも見たいと思っていた瞬間であったため、ただの報告である「レポ」に留まらない思いが「夢」という表現に込められていると考えられる。したがって、イラストに描かれた一場面に関して、話し手からするとまさしく「夢」であるが、「夢」単体では伝わらないため、説明的に「レポ」を提示していると考えられる。

③ 焦点化機能

「Ⅲ補足」、「Ⅳ前提訂正」、「Ⅴ話題導入」の3つの用法で確認された機能である。

複数の事柄を提示する際に、「トイウカ」を用いることによって個々の独立性を強調することが可能になる。

「Ⅲ補足」、「Ⅳ前提訂正」の用法においては、「トイウカ」を用いることにより、情報が分割され、先に提示された情報に対しもう一方の情報を後から追加する構成になり、倒置法のような効果をもたらす。

「Ⅴ話題導入」の用法においては、前件として触れた内容とは別の内容に触れる際の接続詞として用いることによって後続の内容がより強調され、読み手のフォーカスを後続内容に集中させる効果を発揮する。

以下に用例を示す。

(10)本日はミュージカル『新テニスの王子様』

The Fifth Stage 岐阜公演初日～

今日もありがとうございました！

岐阜からは、デューク役の大久保圭介くんが加わり更にパワーアップ！

²⁹ もつに(@nikumottooo)、2025年10月28日

<https://x.com/nikumottooo/status/1982829541749121233>

てか、デューク、いろいろ普通に笑っちゃいました😄気になった方は是非、岐阜公演へ



3日間で短くて、寂しいですが、皆さんをお待ちしてます🙇

明日もよろしくお願ひします🙇

#メダノレ #當間ローズ #デューク #大久保圭介³⁰

(20)こんなの相手にしてる警察官が可哀想。。

外国人が違法改造車を運転し、警察に止められ最初は素直に返事するも、

違反が覆らないとわかった瞬間「日本人は頭がおかしい」と逆上!!👊

外免切替が簡単に通った外国人は強制返納させるべき

てか、日本のルールを尊重する気がないなら自分の国に帰れ³¹

(21)やっと氷ピクミン引き抜けた～🧊

てか声可愛すぎん!?!?!?

つつきまくったら

最後に手振ってくれました～😊💕³²

(22)ていうか最近自分の推し以外の👉に対する理解度が低い人増えた?気のせい?

他担の私ですら、その👉がそんなこと思うわけなくない!?!とかそんなことまでその人のせいにしちゃうの!?!みたいなこと思ってしまうようなツイートよく見かける³³

(23)てか HAPPY の HAPPY! の MV、はるさんの冒頭ダンス好きすぎて全く進まない。³⁴

³⁰ 當間ローズ(@touma_rose)、2025年10月31日

https://x.com/touma_rose/status/1984243440427978832

³¹ テイトン(@bcfe70bord)、2025年11月3日

<https://x.com/bcfe70bord/status/1984999986896204066>

³² リコ/えすふぁみ(@riko_esufami)、2025年11月3日

https://x.com/riko_esufami/status/1985295710976389266

³³ ぴー(@0728Pi)、2025年11月20日

<https://x.com/0728Pi/status/1991337382130655621>

³⁴ 旭川のゆうちゃん(@yuleoleoyu)、2025年11月4日

<https://x.com/yuleoleoyu/status/1985522892952723568>

先にも挙げた用例(10)は「Ⅲ補足」の用法での用例である。「てか」以降の内容によって「パワーアップ」の具体性を高めるものだが、それと同時に「てか」以降を強調する構成になっている。先に述べた文の中に「いろいろ普通に笑っちゃいました」の要素を入れこまず、「てか」により文を独立させることによって、「いろいろ笑っちゃいました」を際立たせていると言える。

用例(20)は「Ⅳ前提訂正」の用法での用例である。法に抵触した外国人の対応に対し意見を述べた後、交通ルールに限らず、日本のルールを破る外国人が言及の対象であると訂正するものである。「てか」により発話前に遡る構成にすることによって、日本に住む外国人に対する総括的な意見として「日本のルールを尊重する気がないなら自分の国に帰れ」を強調していると言える。

用例(21)は、「トイウカ」以前に文脈がある状態で発話された用例である。この投稿には、「氷ピクミン」がつつかれることによって発声した後、こちらに向かって手を振る動画が添えられている。発話内容について、話し手自身の「氷ピクミン」を引き抜いたことへの感慨を語った後「てか」を用い、「氷ピクミン」そのものに関する言及へと移行することにより、動画で見せている「氷ピクミン」の様子によりフォーカスが当たるような構成になっている。

「トイウカ」以前に文脈が無い状態から発話される形式においても同様の機能がはたらいっていると考えられる。「Ⅴ話題導入」の用例から、文脈が無い状態から発話された用例を取り出して、対話をしている相手にはたらきかけるモダリティを含む投稿を集計した。集計の結果、58.9%(163例中96例)が疑問や確認といった、対話相手の存在を前提とするようなモダリティを内包する投稿であった。

用例(22)が相手にはたらきかけるモダリティを含む用例である。「トイウカ」を用いた後、グループのメンバーを単体で応援している人の内、応援しているメンバーとは別のメンバーに対し粗末な扱いをする人が増加傾向にあることを他のファンに問いかける形で述べている。かねてより問題視していたことについて問いかけの形で発話していることから、読み手に対して訴えかけ、何らかのリアクションを期待しているものと考えられる。

用例(23)は対話相手にはたらきかけるモダリティを含まない、話し手のみで完結している用例である。しかし、この投稿には、「はるさんの冒頭ダンス」の動画が添えられており、直接リアクションを求めるものではないが、「はるさんの冒頭ダンス」へ注目を集めることを意図したものであると考えられる。

「Ⅴ話題導入」の「トイウカ」において、対話の場面では話題を切り出す談話標識として、発話する権利を獲得する役割を果たしていた。今回分析した独話の場合においては、

疑似的に対話の場のような使い方をすることによって、仮想の対話相手を設定し、タイムライン等に見られる他の投稿の中でも、読み手に強く訴えかけ、「トイウカ」以後の内容に焦点化させる手段として使用されている可能性は否めないと考える。

6 おわりに

本論文では、現実のコミュニティの中で用いられてきた若者言葉である「トイウカ」の、SNSにおける使用実態を調査し、言語活動の場をSNSに拡大させることによりどのような変化が起きているのか、その一端を明らかにすることを目的に調査を行った。今回は2025年にTwitterに投稿された文章を対象に、「トイウカ」の語彙的意味を示すか否か分類を行った。今回の調査で得られた結果を、改めて以下に記述する。

- ・用法は「Ⅰ 暫定提示」、「Ⅱ 言い換え」、「Ⅲ 補足」、「Ⅳ 前提訂正」、「Ⅴ 話題導入」の5つに分類可能である。
- ・語彙的意味をもたない用法での使用割合は、原田(2015)の調査に比べて全体的に増加している。
- ・特に縮約形・テ系では語彙的意味をもたない用法が優位となっていた。
- ・語彙的意味をもたない用法が優位であるとともに、語彙的意味をもつ用法の訂正はより間接的になり、語彙的意味の喪失は用法全体に影響する。
- ・表記や入力コストと語彙的意味の有無との間に相関関係は見られない。
- ・「トイウカ」が読み手へとはたらきかける機能は「①発話緩衝機能」、「②説明提示機能」、「③焦点化機能」の3つが確認された。

今回の調査によって、20年以上前から若者言葉として位置づけられている「トイウカ」が現在においてどのように変化しているのかを捉えることができた。原田(2015)の調査をもとに調査を行い、2015年時点の発話環境との最も大きな変化としてSNSの登場を挙げたが、発話の手段が「話す」から「入力する」に変化したことは語彙的意味の有無を左右しないという結果になった。しかしその一方で、語彙的意味をもたない用法の拡大が確認できており、この傾向は今後も注視する価値があると考えられる。

また、今回は過去言語変化が起きた語の一つとして「トイウカ」を扱ったが、語の発生背景や構成する音韻要素によって変化の結果も変わることも考えられる。言葉の消費スピードも急激になっている現代において、言語変化は今後も注目すべきだろう。

7 参考文献・参考サイト

- 『現代用語の基礎知識 2025』、2025 年、自由国民社
- 北原保雄編(2010)『明鏡国語辞典 第二版』、大修館書店
- 北村智・佐々木裕一・河井大介(2016)『ツイッターの心理学：情報環境と利用者行動』、誠信書房
- 泉子・K・メイナード(2005)『[日本語教育の現場で使える] 談話表現ハンドブック』、くろしお出版
- 堀尾佳以(2022)『若者言葉の研究——SNS 時代の言語変化——』、九州大学出版会
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹(2018)『新版日本語語用論入門——コミュニケーション理論から見た日本語——』、明治書院
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹(2010)『コミュニケーションと配慮表現：日本語語用論入門』、明治書院
- 米川明彦(1996)『現代若者ことば考』、丸善
- 米川明彦(1997)『若者ことば辞典』、東京堂出版
- 米川明彦(1998)『若者語を科学する』、明治書院
- 米川明彦編(2003)『現代俗語大辞典』、東京堂出版
- 石井久美子(2017)「ウェブ上のコミュニケーションの表現と表記——電子機器の進化と加速するやりとり——」『日本語学』36 巻 10 号、pp. 42-52、明治書院
- 梅澤実(1999)「『ていうか』の使用心理から探る中学生の友人関係」『日本語学』18 巻 14 号、pp. 79-83、明治書院
- 沖裕子(1999)「若い人が使う『ていうか』はどんな言葉ですか。」『言語』28 巻 5 号、pp. 80-83、大修館書店
- 孫守乾(2021)「『トイウカ』の配慮機能への考察」『創価大学大学院紀要』42 号、pp. 339-360、創価大学大学院
- 田辺和子(2013)「『とゆーか』の意味と用法の変化について～2002 年・2008 年・2013 年の調査をもとに～」『明海日本語』18 号、pp. 129-157、明海大学日本語学会
- 田辺和子(2008)「『というか』の文法化に伴う音韻的变化の一考察——縮約形『てか』『つか』をめぐって——」『明海日本語』13 号、pp. 55-63、明海大学日本語学会
- 趙剛(2007)「談話標識『というか』の用法と機能」『日本言語文化研究』10 号、pp. 1-12、日本言語文化研究会
- 寺井妃呂美(2000)「談話における『トイウカ』の機能」『日本と中国ことばの梯 佐治圭三教授古稀記念論文集』pp. 175-186、くろしお出版

- 原田幸一(2015)「若年層の日常会話における『トイウカ』の使用——縮約形『てか・つか』に注目して——」『日本語の研究』11巻3号、pp. 16-31、武蔵野書院
- 林千賀(2007)「ブログからみえる若者言葉の『ってゆうか』——社会言語学的研究への示唆——」『国際文化研究所紀要』12巻、pp. 75-90、城西大学国際文化研究所
- 堀尾佳以(2022)「『若者言葉』の生成と観察」『ユリイカ』54巻10号、pp. 192-199、青土社
- 若松美記子・細田由利(2003)「相互行為・文法・予測可能性—「ていうか」の分析を例にして—」『語用論研究』5号、pp. 31-43、日本語用論学会

Twitter(現：X)、最終閲覧日：2026年1月30日

<https://x.com/>